

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 5 週 (2026/1/26~2/1) 感染症発生動向調査速報値 (2026/2/4 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数： **698** 人、定点医療機関当たり **14.85** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科18定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

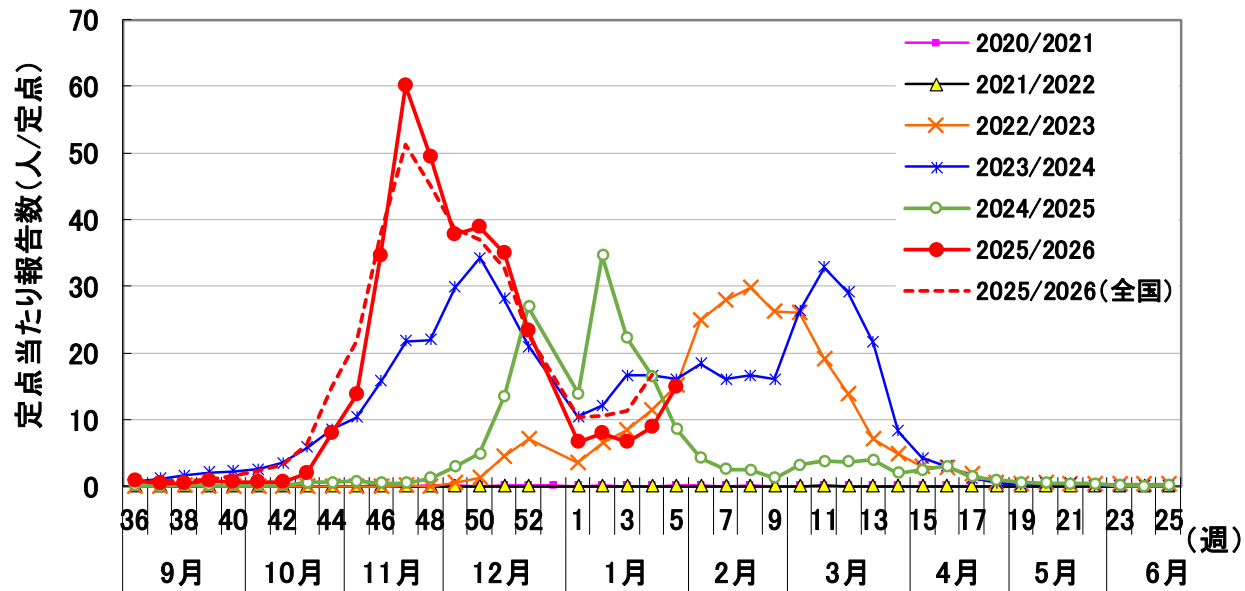
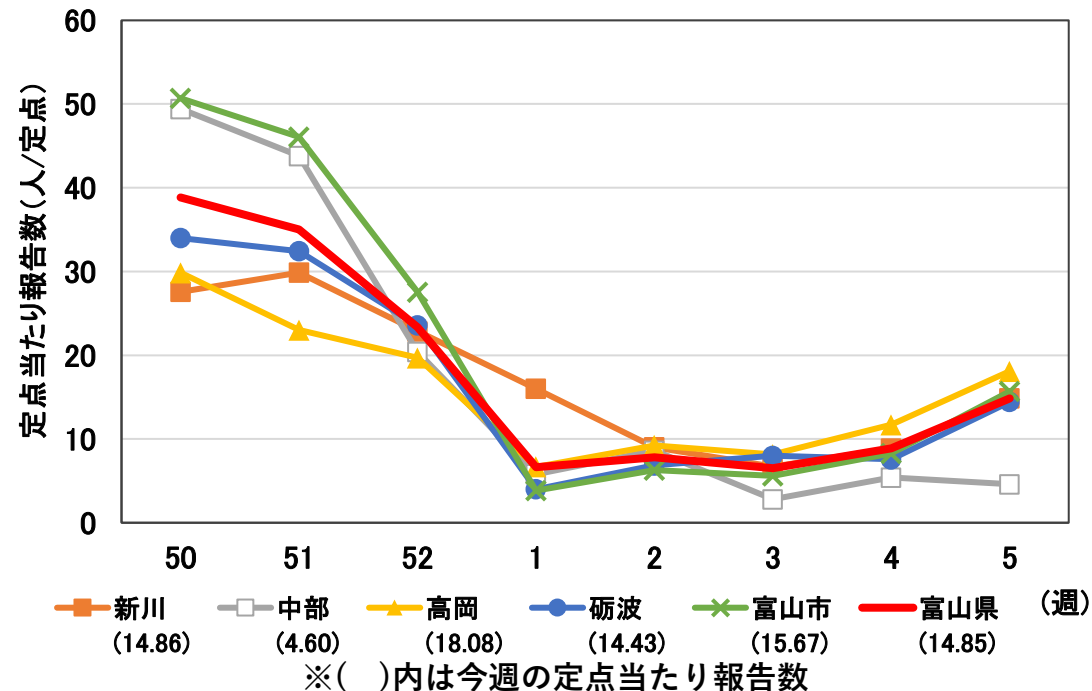


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



- 富山県の患者報告数は今週14.85人/定点となり、先週 (8.89人/定点) から増加した。注意報開始基準の10.0人/定点を超えた (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、中部管内を除くすべての管内で先週から増加した (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

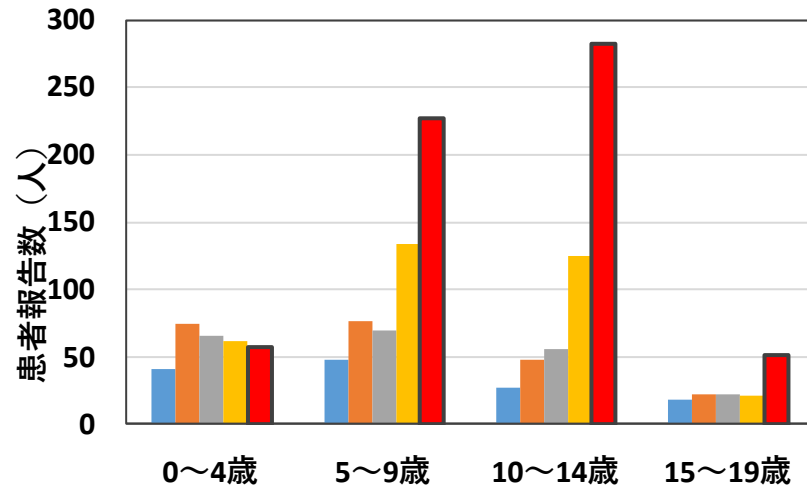
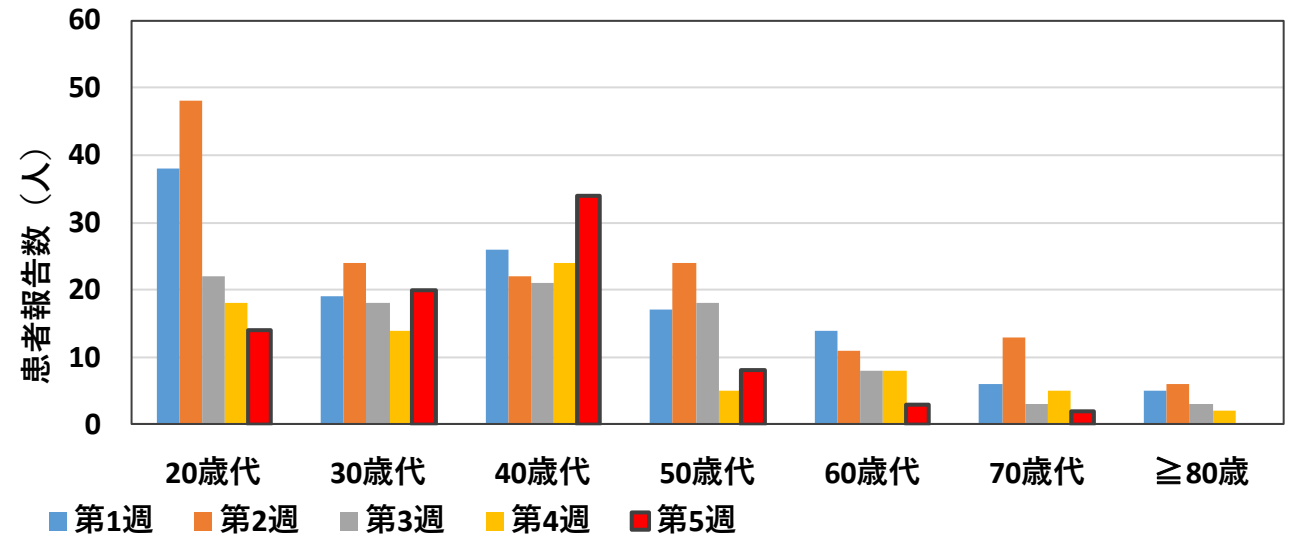


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 5～19歳、30～50歳代で先週から増加した一方、その他の年代で先週から減少した。特に5～14歳で大幅に増加した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第4週)

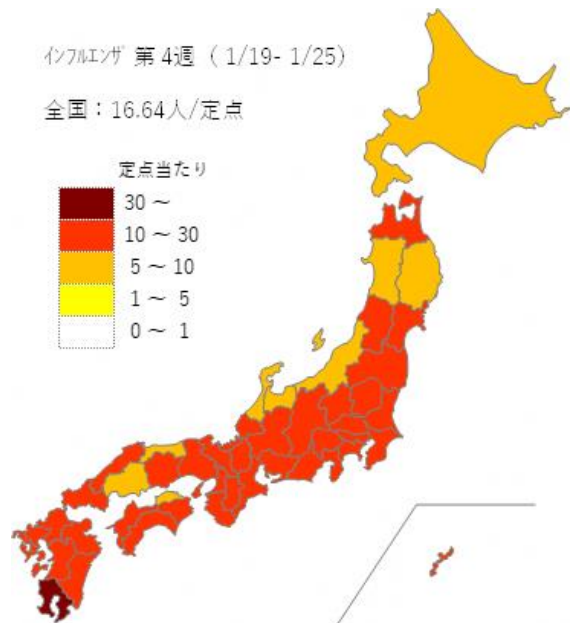


図5. インフルエンザ入院サーベイランス

患者報告数の推移 (富山県)

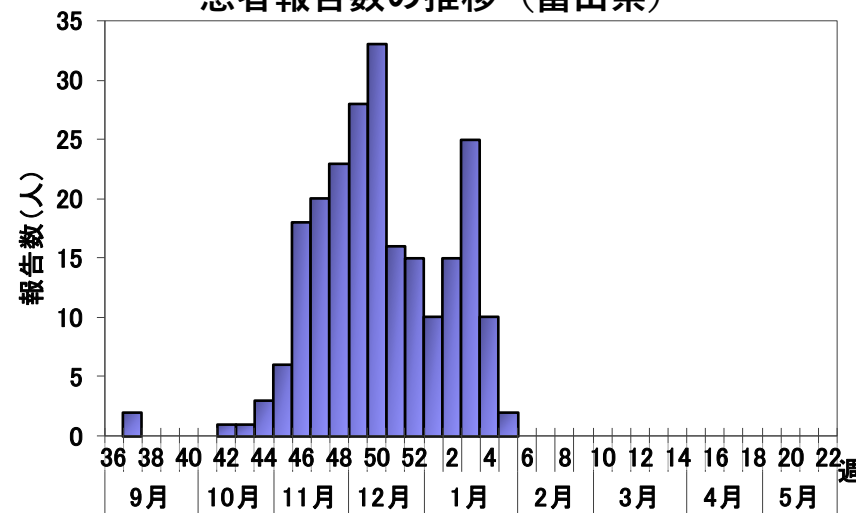
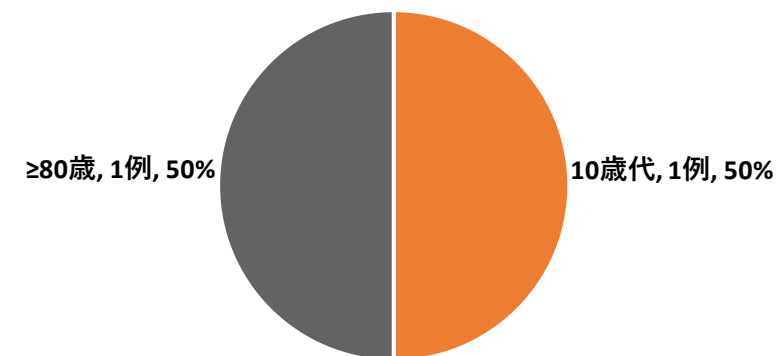


図6. インフルエンザ入院サーベイランス

年代分布 (第5週、2例)



- 全国では第4週に16.64人/定点となり、第3週 (11.33) から増加した。都道府県別では、1県で警報開始基準の30.0人/定点を超えている (図4)。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週2例の報告があり、先週 (10例) から減少した (図5)。
- 入院患者の年代は、10歳代、80歳以上が各1例で、70歳以上が50%を占めた (図6)。
- 第5週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が19件 (小学校10件、中学校6件、高等学校3件) あった ([富山県インフルエンザ関連情報](#))。
- 県内の患者報告数は2週連続で増加した。また、B型の検出割合は74.9% (第4週42.3%) と増加傾向であった ([富山県感染症発生動向速報2026年第5週](#))。小中学生の小児を中心にB型による感染が拡大している可能性が考えられ、引き続き発生動向を注視する必要がある。